

# かわら版

発行 森藤右衛門を顕彰する会

会長 関口修  
事務局 樋口信義  
酒田市東栄町十二丁目一  
(電)二八八〇七九

森藤右衛門を顕彰する会の設立総会が三月二十八日、酒田市総合文化センターで開催されました。この日は藤右衛門生誕一七〇年の記念の日、予想を超える一五〇名の参加で会場が溢れました。



挨拶する関口修会長

総会は佐藤壯吾氏(広岡)が開会を宣し、準備に当たってきた「考える会」を代表して関口修氏が経過報告を兼ねて挨拶を行いました。

会設立に尽力されてきた守谷吉男氏(元県議)・太田栄市氏(元藤島町議長)・

星野正紘氏(ワッパ騒動義民顕彰会事務局長)・三原容子氏(東北公益文科大学教授)が紹介されました。

参列された森田廣・佐藤藤弥・石黒寛各県議からご祝辞を賜り、阿部寿一酒田市長、和島末希衆議院議員からの祝電が披露され、羽黒町手向の芳賀壯一氏(藤右衛門の鉄代夫人の実家)からのメッセージが紹介されました。

議長は提案の通り採択  
議長に庄司庄

事業予定額  
二〇〇万円  
○会費受付額 一口千円(一口以上複数口のご協力をお願いします。)

○会費受付口座  
022401134589  
○会費受付期間  
二〇一二年四月〜六月末  
○建立時期  
二〇一二年九月、遅くとも二〇一二年内  
○建立場所  
県立酒田東高校隣接の横道町児童公園内(交渉中)

この日、鶴岡・田川からは二〇名余の方々が酒田での取り組みの激励を兼ねておいで下さいました。

設立総会に臨んで①  
春光 工藤博司(旭新町)  
(現代俳句協会)

設立総会に臨んで②  
この日、鶴岡・田川からは二〇名余の方々が酒田での取り組みの激励を兼ねておいで下さいました。

「森藤右衛門と酒田」、明治大学文学部の長沼秀明講師による「東京における森藤右衛門」の二つの講演が行なわれました。その要旨を裏面に紹介致しました。

森藤右衛門の知られざる新しい側面と課題が示されました。

○芳賀壮一様(芳賀七右衛門家現当主、羽黒町手向)  
御当地酒田において、唐仁屋森藤右衛門を取り上げていただき、顕彰いただけますことを、縁ある者として、大変嬉しく有難く思っています。これを機会に、貴会のみならず、ご発展を祈念致します。注・芳賀七右衛門家は藤右衛門の父の生家でもあり、妻鉄代の実家でもあります。

○酒田市長 阿部寿一様  
森藤右衛門を顕彰する会設立総会の開催を心よりお祝い申し上げます。貴会の今後のご発展と、本日のご参加皆様のご健康をお祈り致します。

○衆議院議員 和島末希様  
この度の森藤右衛門を顕彰する会が多くの有志皆様のご尽力のもと設立されましたことを心よりお慶び申し上げます。酒田出身の自由民権運動家として活躍した森藤右衛門の功績を後世に伝えるために、生誕一七〇年を迎える今年、貴顕彰会が設立されましたことは誠に意義深く、喜ばしい限りです。

頭彰会の今後のご活躍と、本日の設立総会、記念講演のご盛會を心より祈念致します。



会場を埋め尽くした設立総会

先人の覚悟  
小笠原敏夫 (亀ヶ崎)  
森藤右衛門は掛け軸の前で盟友と水盃を交わした。その軸を私は前に退公協の研修会で見た。大塩平八郎のさらし首の図で、首には血糊が付き、無念の形相がにじむもので、今も鮮明に覚えている。

森藤右衛門と酒田

貴島飽海郡長宛戸長選挙に関わる  
千二百有余名の連署をめぐって  
東北公益文科大学教授  
三原 容子 先生



藤右衛門を背に藤右衛門を熱く語る三原先生

三原先生は冒頭  
藤右衛門顕彰活動  
の発展方向について、  
「先人の成果に立って、後世の評価に耐え得るものになりたい。そのため“神話”を作らず根拠を求めてすすめていく必要がある。顕彰碑が建立された後で、

全国的に知られた人物が地元で知られてこなかったのは支配勢力に都合の悪い事件・人物は隠され、ねじ曲げられてきた。  
ワッパ騒動は川南の話ではないかというが、これを訴訟活動に導いた藤右衛門が、その後多くの同志達

とすすめた政治活動の舞台は酒田・飽海であった。  
藤右衛門は第二次酒田県政の悪政を糾すために、中央に訴え、取り調べや裁判を実現させ、飽海郡のリーダーとして、三島県令らに対し粘り強く闘った。全国レベルで知名度の高い民権家だった。全国に有名な政

治結社「尽性社」を結成、後に庄内自由党に発展、革新派飽海協会の機関紙「両羽新報」を発行、山形・鶴岡に支局をおいた。その後の飽海の政治活動・政治風土の基盤を作った。仲間内の利益よりも地域の振興の方向に重点をおいた。

長沼先生は三原先生の指摘した「なぜ今まで知られてこなかったか、森を中心とする活動の中心は酒田・飽海にあった」との視点は森を顕彰する核心につながると解説した。  
旧庄内藩士族体

石代会社結成、雑税廃止・村役人の不正追及・過納金償還訴訟に取り組み、成果を上げた。森は地方官会議を傍聴に行き、ここで全国から傍聴にきた同志達と交流したと考えられるが未解明である。  
明治八年、鶴岡代官町に法律学舎を開設した史料は本校が創られたことを示す史料はわ

東京における森藤右衛門

森の建白活動は日本法制史上  
いかに大きな影響があつたのか  
明治維新史学会理事  
明治大学文学部兼任講師  
長沼 秀明 先生



長沼先生の講演に聞き入る設立総会参加者

ずかで、発掘が待たれる。  
清水齋記は支校の教師だが、その人物像、森との交流、法曹界に与えた影響など今後の研究課題である。  
齋記の妻・清乃（青塚儀左衛門の娘）が経営する清水屋旅館（のちの清水屋百貨店）は齋記の政治活動の拠点となった。  
ワッパ騒動は国民の権利を守るために法を武器としてたたかう方法に大きく転換した。これは庄内から始まり、地域の歴史を創ってきた。このような視野から見ると、今の日本社会に新たな光りを投げかけられるのではないか。酒田・鶴岡に創られた法律学舎の研究

を進め、そこに学んだ人々を解明できれば、これらの人々は明治のはじめ日本の法曹界を築いたと言える。新しい時代が酒田・鶴岡から始まったのである。  
設立総会に臨んで③  
今野 茂(穂積)  
元酒田飽海農民連盟会長  
昭和三五年農業基本法が制定され、農業の将来にバラ色の夢を見たも束の間、ペナルティ付きの減反政策が始まり、余っているのに米を輸入する乱暴な話がかまかり通っている。当初は苗代一枚程度から、今は総反別の1/3を超す減反で、米価は下がる一方、奨励金を加算しても、昭和50年頃の価格で低迷している。  
現状を乗り切る為